



# 福岡いのちの電話チャリティーコンサート



## 弦楽四重奏の夕べ

### 演奏者プロフィール



#### 大山 佳織 / ヴァイオリン

北九州市出身。ヴァイオリンを篠崎英育、数住岸子、太期晴子各氏に師事、東京音楽大学入学後は、篠崎功子教授に師事。読売新聞社主催北九州市音楽祭ヴァイオリン・コンクールにおいて第2位入賞、毎日新聞社主催ヴァイオリン・コンクール西部大会高校部門で優勝、同年、福岡銀行本店ホールで優勝者記念演奏会に出演。1992年九州交響楽団入団。1993年日本演奏家連盟主催新人演奏会で九響と共演する。1994年と1998年にアフィニス文化財団主催の音楽セミナーに参加。1995年から2007年まで室内楽“アンサンブル MUTU”のメンバー。2007年にピアニスト石井克典氏と福岡でデュオ・リサイタルを催す。現在、九州交響楽団第一ヴァイオリン首席奏者。

#### 緒方愛子 / ヴァイオリン

熊本県菊池市出身。5歳よりヴァイオリンを始める。福岡教育大学卒業。同大学大学院修了。在学中に熊本県新人演奏会や北九州芸術祭に出演。日本演奏家連盟主催のオーディションに合格し、九州交響楽団とショーゾン作曲「詩曲」を共演。ソロや室内楽の演奏で国内外の音楽祭に参加し研鑽を積む。現在、ソロや室内楽、オーケストラの客演演奏をはじめ、宗像ユリックスや熊本県立劇場のアーティストとしてのアウトリーチ活動等、各地で演奏活動を行う傍ら、後進の指導にあたっている。



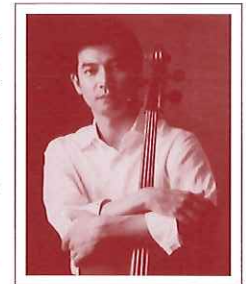
#### 大山平一郎 / ヴィオラ



米国サンタバーバラ室内オーケストラ音楽監督兼常任指揮者。CHANEL Pygmalion 室内楽シリーズ アーティストティック・ディレクター。Music Dialogue 代表。京都生まれ。両親共に博多出身。1979年にカルロ・マリア・ジュリーニが率いるロサンジェルス・フィルハーモニックの首席ヴィオラ奏者に任命された後、指揮の勉強を始め、1987年アンドレ・プレヴィンに同楽団の副指揮者に任命される。1999年から5年間、九州交響楽団の常任指揮者。2003年に30年に渡るカリフォルニア大学教授を終える。2004年から2008年まで大阪交響楽団音楽顧問・首席指揮者。2007年から3年間ながさき音楽祭音楽監督。2005年に“福岡市文化賞”を受賞。2008年文化庁の“芸術祭優秀賞”を受賞。2014年米国“サンタバーバラ市文化功労賞”を受賞。

#### 原田 哲男 / チェロ

桐朋学園大学在学中の1990年に蓼科高原音楽祭奨励賞受賞。同大学卒業後から2年間ドイツのマインツ大学音楽学部学ぶ。1997年からは米国ダラス市の南メソヂスト大学より奨励金を得て、同大アーティストディプロマコースに入学、同年夏「チェロアンサンブルサイトウ」のメンバーとして日本、ヘルシンキ及びバシクトペテルブルグの世界チェロコンGRESSに出演した。1999年から2012年9月末まで仙台フィルハーモニー管弦楽団首席チェロ奏者を務める。その間、仙台フィルメンバーによるセレノ弦楽四重奏団のメンバーとして、またプラハ放送交響楽団宮城公演のソリストとして起用されるなど、仙台市を拠点にソロ、室内楽等多彩な活動を行った。森川諄一、木越洋、ユリウス・ベルガー、岩崎洸、クリスティアン・ギガー氏（ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団第一ソロチェリスト）に師事。2013年5月より福岡に本拠地を置く九州交響楽団首席奏者に就任。

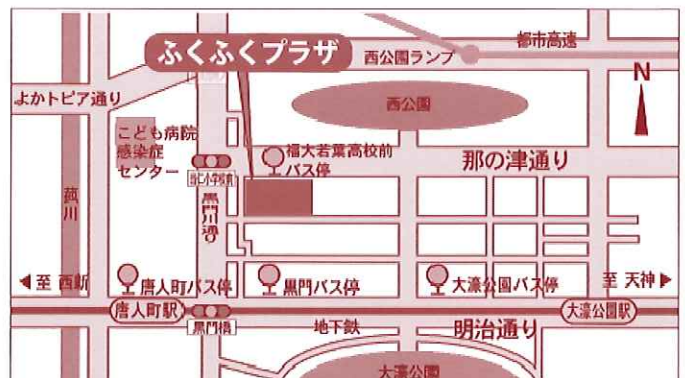


### 社会福祉法人福岡いのちの電話は 市民の支援で活動しています

福岡いのちの電話は、さまざまな悩みを抱え  
独り苦しむ人のそばに、電話を通して寄り添っ  
ています。24時間365日、眠らぬ相談ダイヤル  
として開局から31年が経過し、年間16,000件  
の相談を受けています。

今回のチャリティーコンサートの収益は活動資  
金に充てさせていただきます。

### ふくふくプラザ（福岡市市民福祉プラザ）ホール



福岡市中央区荒戸 3-3-39 電話：092-731-2929

交通・地下鉄「唐人町」駅下車（4番出口から徒歩7分）  
西鉄バス「黒門」、「唐人町」バス停下車